
とあるisの未定未来

zero

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とあるisの未定未来

【コード】

N8127Y

【作者名】

zero

【あらすじ】

主事項の天道神器がISの世界に原作知識を持って転生する物語です。

プロローグ（前書き）

はじめての投稿なのでどうすればいいかわかりませんが、がんばります

プロローグ

俺の名前は天道神器てんどうしんぎにも変わらない日常に飽き飽きしながら信号が青になるのをまっていた。

（おっ、信号が青になった）

俺はゆっくりと信号を渡り始めた

よこからなんか急ブレーキをしたような音がした

（まったく、うるさいな）

そしておれは横を見た瞬間トラックが目の前まできていた

（マジかよ）

そしておれは宙を舞った

「キヤアアアアアツツ！！！！」

何人かが叫んでいる

「お、おい大丈夫か！？」

「早く、救急車を呼べ！！！！」

おれは意識が朦朧とするなか思っていた

(ああ、やっとこの世界からぬけだせる)

そしておれは目を閉じた

『 おき・・・く・・・おき』

『 起きてください』

「 じりるさいなあ」

『 ああ、やっと起きてくれました』

(ここはどこだ、俺はたしか死んだはずだ・・・)

なぜか真っ白な空間におれはいる

『 ここは三途の川の一步手前の場所です』

(そうか、俺はやっぱり死んだのか、あれ俺声にだしていったけ？)

『 いえ声にはだしていません、私があなただの心を読んだだけです』

「そつですか」

『あれあまり驚かないんですね』

「ああ、死んだってことを理解してるからな、あなたはだれですか？」

『ああ、申し送れました私は神です』

「瞬俺の思考はフリーズした」

（つは神様！？）

『はいそつです、女神とも言いますね』

（まじか！）

『まじです』

「そつかなら女神さまなぜ俺はこんなところにいる」

『あなた本来死ぬはずがなかったのに死んでしまったので天国にも地獄にもいけないので転生してもらいます』

「つは、転生！？」

『はい転生です。それでどの世界に転生したいですか、アニメや漫画の世界どんな世界でもいけますよ』

「どんな世界にでも？」

『はいどんな世界でも』

(俺はロボット関係が好きだったからなあ)

「ならISの世界にいかしてください」

『はいわかりました、ではなにかほしい能力とかお願いはありますか？どんなことでも大丈夫です』

「なら自分の考えた能力でもいいですか？」

『はい大丈夫ですよ』

「ならまず能力は完璧偽嘘パーフェクトライとゆうのをお願いします」

「二つ目は身体能力をあるていどあげてください」

「三つ目、金銭面を補助してください」

「四つ目、ISを動かせるようにしてください」

「最後に名前や今もっている記憶や容姿などはこのままにしてください」

『はい！わかりました、一様家族はいない設定での転生です。年はいくつかからはじめますか？』

「中3の春からお願いします」

『わかりました、それでは新しい人生を楽しんでください』

「はい！」

そして意識を失った・・・

プロローグ（後書き）

よんでいただきありがとうございます！投稿するのが遅くなるかもしれませんがよろしくお願いします。

設定（前書き）

主人公チートです。はい

設定

天道神器

年齢・・・15歳 中学三年生

性別・・・男

誕生日 7月31日 しし座

身長 176cm

体重 60kg

容姿は整った顔だちに肩まで伸びているサラサラな黒髪で目は黒、能力を使うと充血して赤くなる。

性格はまあまあ冷静で戦いが好きキレると口調が変わる

isのコアを作ることができ自分でisをつくっている。

身体能力は織斑千冬と同じかそれ以上で能力を使えば瞬殺できる。頭もとてもいい

ガンダムseed&destinyが大好き

is change

seedまたはdestinyの機体を元に組み立ててる予定

能力 パーフェクトライ
完璧偽嘘

本当のこと嘘にしていけないことをできるようしたり、できることをできなくすることができる。

解除は自分と意思で行える 能力をつかうと目が充血する

設定（後書き）

めちやくちやくじですいません。。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8127y/>

とあるisの未定未来

2011年11月24日01時53分発行